| 学校番号 | ４０７ |
|---|---|

# 平成３１年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 現代社会 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 最新現代社会　新訂版　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 世の中の動きに強くなるライブ！　現代社会（帝国書院）／　プリント教材 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会における諸問題をとらえ、この社会の中でいかに生きていくのかを考える。
・現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。
・有限な資源を有効に使い、持続可能な社会の形成に参画する態度や意欲を育む。

## ２　学習の到達目標

・現代社会の諸問題をとらえ、考察するための基本的な枠組みを理解する。
・人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間とのかかわりについて考察することができる。
・現代社会に生きていく中で、人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。 | 現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | ・ワークシート<br>⇒提出状況・取り組み<br>・発言 | ・定期考査<br>・ワークシート<br>⇒記入内容 | ・定期考査<br>・ワークシート<br>⇒記入内容 | ・定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 私たちの生きる社会 | ・現代社会における諸課題をとらえ、この社会の中でいかに生きていくのか<br>・豊かな社会を目指す中で、有限な資源をどう利用していくのか<br>・人間は生命の誕生や市にどこまで介入してよいのか | ○ | ○<br>○ | ○ | ○<br>○<br>○ | a:現代社会における諸問題について理解し、いかに生きるかを主体的に考察しようとしている。<br>b:現代社会の諸問題を何が課題となっているか、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している<br>c: 社会の在り方を考察する基盤として、有用な情報を適切に選択して，効果的に活用する学び方を身に付けている。<br>d: 現代社会の諸問題をとらえ、考察するための枠組みを身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発言 |
| | 現代の経済社会 | ・資本主義経済はこれまでどのように発展してきたか<br>・市場での動きを見て市場の価格メカニズムの機能どおりに動いているだろうか<br>・現代の企業には利潤の追求の他に何が求められているのだろう<br>・GDPの増大が、私たちの豊かさを実現するかどうかを考える<br>・日本銀行はどんな政策を行っているのか | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税・金融について理解を深め、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察しようとしている。<br>b: 現代の経済社会の変容について理解し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。<br>c:現代の経済社会の変容などに触れながら、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。<br>d: 現代の経済社会の変容などに触れながら、人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発言 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 現代国家と民主政治<br>日本国憲法の基本的性格 | ・近代民主政治の基本原理である基本的人権の保障は、どのような思想がもとになって確立されたのか<br>・法の支配とはどのような考え方か<br>・世界の国々のリーダー(首相や大統領)は、どのような権限を与えているのか<br>・日本国憲法はどのように成立したのだろうか<br>・日本国憲法の三大基本原理とは何か<br>・差別のない社会を目指すためには何が必要なのか<br>・人権が十分に保障されるためには何は必要なのか<br>・平和主義とわが国の安全とは | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:民主主義の基本理念に基づきながら、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。<br>b: 民主社会の前提となる個人の在り方について、広い視野に立って多面的・多角的に個人と国家について考察している。<br>c: 民主社会における倫理的な自覚を深めるために有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。<br>d:基本的人権の尊重，国民主権，平和主義とわが国の安全について理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発言 |
| | 日本の政治機構と政治参加 | ・国会にはどのような権限が与えられているのだろうか<br>・公正な裁判の保障とは何か<br>・住民のための政治を実現していくためには何が必要か<br>・選挙に基づく政党政治はどのような歴史を歩んできたのだろうか<br>・日本の選挙制度にはどのような課題があるだろうか<br>・世論を政治に正しく反映させるためには何が必要か | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a: 民主政治と国家の在り方について、個人と国家の関係の観点から、個人の在り方生き方がどのように関連しているのかについて考察しようとしている。<br>b:民主政治における個人と国家について、広い視野に立って多面的・多角的に考察している。<br>c: 社会を構成する個人の生き方の選択が、民主政治である社会全体の課題にどのように関連しているかを有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。<br>d:わが国が国会を中心とする民主政治の仕組みをとっているという議会制民主主義と権力分立について理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発言 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 日本経済の特質と国民生活 | ・日本経済の復興と高度経済成長は、どのように実現したのだろうか<br>・経済の国際化が進むなか、日本経済はどのような課題に直面してきたか<br>・日本の中小企業や農業はどのような課題に直面し、どのような方向を目指していくべきなのか<br>・私たちは、消費者としてどのような権利をもっているのだろうか<br>・公害防止や環境の保全・再生のためにはどのような取り組みが必要なのだろうか<br>・こんにちの労働問題をめぐる問題の現状と課題とは<br>・全ての人が安心して暮らせる社会はどんな社会だろうか | ○<br>○<br><br><br><br>○<br><br>○<br><br>○ | <br><br>○<br><br>○<br><br>○ | <br><br>○<br><br><br><br> | ○<br>○<br><br>○<br>○ | a: 現代の経済社会において、自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能やその限界について理解を深め、経済成長と景気変動が国民福祉の向上とどのような関連があるか考察しようとしている。<br>b: 現代の経済社会における個人や企業はどのような目的で経済活動を行っているのか、広い視野に立って多面的・多角的に考察している。<br>c: 現代の経済社会の変容などに触れながら、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。<br>d: 市場経済の機能と限界，政府の役割と財政・租税，金融，雇用，労働問題，社会保障について理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発言 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。